

コロナを吹っ飛ばせ! —クラブ活動の現場から—

クラブ紹介 剣道部

新潟生命歯学部



●現在の部員数

部員：4名(うちOB：2名) マネジャー：1名

●受賞歴

2018年度全日本歯科学生総合体育大会(歯学体)

個人戦準優勝

●活動内容

火曜日、木曜日の週2回 活動時間90分

●今後の抱負

個人の技術の向上と来年の歯学体個人戦優勝、団体戦出場を目標に活動しています。

●メッセージ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今年度は新型コロナウイルスの影響で、合同合宿、歯学体、学園祭などの行事がすべて中止となってしまいました。また、入学時から慣れないネットワーク環境での授業や、同じ新入生とも会えない状況での友人関係や授業内容の情報共有、前期試験など、いろいろ大変だったと思います。しかし大学側もこの状況を打開しようと、部活の内容によっては休日に体育館や緑館が開けられるように考慮するといった、前向きな方向へと進んでいます。

われわれ剣道部では通常の活動時間より短く、面にフェイスシールドをつけ、マスク着用といった形で練習しようと考えています。新入生の皆さん、剣道は礼儀作法などが厳しいで

すが、その経験は社会に出てからとても役に立つと思います。このような状況下でいろいろなストレスが溜まっていると思います。ストレスを発散させたい、また今、話題の「鬼滅の刃」のごとく水の呼吸を使ってみたいという方は、ぜひ剣道部に遊びに来てください。経験者、未経験者どちらも大歓迎ですので、興味のある方はご連絡ください。



新潟生命歯学部3年
篠原宗真

生命歯学部



生命歯学部と衛生学科の学生、10人で活動しています。

最近では歯学体にて男子個人戦3位、女子団体戦3位に入ることができました。

主な活動は、歯学体や医療系の大会への参加や段審査の受審等であり、そのため日々稽古をしています。

剣道部は昨年、創部90周年を迎えるほどの長い歴史があり、多くのOB・OGの先生方に恵まれています。

加えて部活動以外にも遊びに行ったりと部員同士で絆が深く、また学部問わず多くの大学と頻りに交流する機会があるため、他大学の剣道部員とも仲が良いです。

私は剣道に対して憧れがあり、大学から剣道を始めた身で

すが、とても楽しく活動しています。先輩、OB・OGの先生方に丁寧に指導していただき、剣道三段を取得することもできました。

部活動に打ち込んだ4年間で剣道に留まらず多くのことを経験し、学び、成長できたと思うので、今後直面するであろう様々な困難にも恐れず立ち向かっていきたいです。



生命歯学部5年
杉本 遥

過去のスポーツ・文化・学術大賞

年度	生命歯学部	新潟生命歯学部
平成25年度	馬術部	麻酔学グランド
平成26年度	バドミントン部	バドミントン部
平成27年度	硬式野球部	剣道部
平成28年度	体育会会長	陸上部門砲丸投げ
平成29年度	硬式野球部	陸上部門高跳び
平成30年度	硬式テニス部	バドミントン部
令和元年度	バドミントン部	陸上部

皆さんこんにちは。北海道校友会会長の金井です。コロナ禍の中、学生の皆さん方にとっては授業もリモートで実習もままならず、大変つく心配な毎日を送っていることと察します。全国的に第三波が押し寄せ医療崩壊にもつながりかねない、さらなる感染拡大が危惧されます。一日も早く終息することを願っております。

北海道日本歯科大学校友会の現在会員数は383名で、うち終身会員は79名と年々減少傾向にあります。その昔は600名以上の会員数で道内の全大学では最大の会員数を誇っておりました。その後は卒業生が北海道に戻ってこなくなったことや、道内の他大学に入学者が流れることなどにより、会員数が時代の流れとともに次第に減少してきました。

年間イベントには新年会、臨時総会(毎年)、定時総会(隔年)、忘年会などがあります。夏には北海道出身の現役の学生さんにも出席してもらい、校友会の先生方と楽しい時間を過ごしています。北海道出身の学生の皆さん方にはぜひ、卒後に北海道に戻ってきて欲しいと思います。そして多くの若い方々の力で、北海道校友会を盛り立てて元気にしていただきたいと希望しております。さらに北海道出身ではない他県出身の学生の皆さん方にも、ぜひ北海道のこの雄大な土地の素晴らしい四季の中で、のびのびと過ごしてみても期待しているところです。いかがでしょうか。ぜひよろしく願いいたします。



2020年 中止になった行事

2020年、新型コロナウイルス感染拡大予防のために、本学の行事の数々も中止となってしまいました。お互いの信頼を高め合い、友情を育む場であったはずなのに、残念でなりません。学生の皆さんには、どうか明るい未来を信じ、臆することなく勉学に励まれることを祈っております。

以下、特に体験できなかった第一学年の皆さんに、中止となった事業を列記いたします。

学生対象のイベントで今回中止になったもの

校友会・歯学会入会歓迎会
新入生入学式
東京校袖ヶ浦セミナー
第1学年オリエンテーション
富士見・浜浦フェスタ
スポーツ・文化学術大賞
東京校・新潟校合同合宿
夏季歯学体結団式
全日本歯科学学生総合体育大会
浜浦祭・間夜祭ライブ
富士見祭
校友会・学生会主催講義
冬季歯学体結団式

2021年はwithコロナであったとしても、一つでも多くの行事が開催されることを、望みたいと思います。

学生短信

令和2年4月7日、政府から新型コロナウイルス感染防止のため緊急事態宣言が発令されました。本学ではしばらくMoodleを活用した課題や、Zoom遠隔講義を行うことになりました。本来であれば4月にまた新しい学年として学生生活を送れると期待に胸を膨らませていましたが、先行きが見えない不安の中、新学期が始まりました。



生命歯学部4年
相田治寿

数か月も外に出ることができないというのはとても辛いものです。毎日勉強に励んでいますが、私たちは気分転換として読書をする、映画を見る、自炊や掃除などの家事を

コロナ禍だからこそ「自主独立」の精神で

いつもより丁寧に、普段よりゆっくりお風呂に入るなどして、それぞれが工夫しながら過ごしています。この機会に英語もしっかり勉強している学生もいるようです。できないことも多いですが、なんとか心身の健康を保てるように努めています。

また、これほど長い期間登校ができないというのはとても退屈なものです。平常の講義もなく、クラブもなく、学友たちとの直接的な交際もありません。講義を直接受講する機会が減ったのも悔やまれます。何より、実際に手を動かす実習の時間が減ってしまったのが残念です。現在の国家試験は実技は問われませんが、一人前の歯科医師になるためには知識、精神、そして技術が不可欠だからです。私たちにとって、そ

の技術を高めるための基礎である実習が減ってしまうのは、今まで卒業していった先生方と比べてどのような影響があるのでしょうか。

しかしこのような長期的、かつ世界的な災害時にこそ、本学の「自主独立」の精神を発揮するときではないかと考えます。勉学には独りで取り組み、解決し向上していく力が必要です。実習においても実際に使用する器材は手元にありませんが、必要な器材・手法などの基礎知識を前もって身に付けることはできます。どんな状況でも何ができるかを各自が考え、実行していくことにより将来の歯科医師像に向けて着実に近づくことができると信じています。

私は3月に卒業し、4月から本学附属病院で臨床研修をしています。今回、私が6年間どのように学生生活を送り国家試験を乗り越えたかをお話することで、何かお役に立てれば幸いです。

2、3年生はテストのたびに全力で暗記することが、後にいろんな科目と結びつくきっかけとなりました。また自分に合った勉強スタイルを早めに見つけることが今後の鍵となると思います。目先のテストだけではなく、常に国試を意識しておくことです。試験は必ず朝早くに始まり、みっちり2日間行われる体力勝負でもあります。集中力を保つためにも、睡眠時間を確保する習慣はつけておいた方がいいと思います。

4年生ではこれまでと違って定期試験の他にCBTがあります。私はまとめノートを作ることで、知識を固められた気がします。この時に作ったノートは授業や問題集から補充しながら国試の前日まで活用しました。

5年生の実習では、診療の準備や片付けを通して教科書で見ていた器具に実際に触れることができました。一番は先生の手技や治療の流れを目に焼き付けておくことです。私にとっては丸暗記しただけの知識が一連の流れでつながった大事な学年でした。

6年生はスタートダッシュが肝心だと先輩に言われていたので、4月の頭から大学のセミナー室を借りて勉強を始めました。私は1年生のころから一緒に勉強をしてい

た仲間と、質問したり授業で大事だと言われたところを確認し合ったりして進めていきました。授業の復習とその他に自分でノルマを決めて問題集を解いていました。しかし時間には限りがあるので、わからないことはその都度解決するようにし、忘れるたびに調べて知識を定着させていくしかないと思います。模試は時間を拘束されるように感じますが、本番でも何問か出ていたので見直しをしっかりとすることをお勧めします。

最後になりますが、積み重ねた努力は必ず本番で自分を助けてくれます。皆さんの国家試験合格をお祈りしています。



附属病院
臨床研修歯科医
蔵田麻莉沙
(109回)

こうゆう先輩

第22回

解剖学者として生きる



新潟生命歯学部
解剖学第1講座
竹澤康二郎 (96回)

私は大学の解剖学実習で解剖学に興味を持ち、実習が終了した後も毎年夏休み期間中に、解剖学教室で行われる解剖学セミナーに参加していました。毎回新しい発見があり、感動の連続でした。大学卒業後は日本歯科大学新潟病院で研修医となり、研修修了後は一般開業医に勤めましたが、その期間中も解剖学セミナーには毎年参加していました。開業医での診療経験を積んだ後、やはり解剖学を本格的に学ぼうと決心し、一念発起して日本歯科大学大学院新潟歯学研究科の硬組織比較形態学(解剖学)に入学しました。

大学院時代は解剖学の研究に明け暮れ、2年が経ったころに日ごろの成果が実り、これまで知られていなかった膜状筋組織を発見することができました。発見された組織が本当に筋組織なのか、これまで誰も発表したことのない新規の発見なのかを調べている間はとても興奮を覚え、そして楽しい時間でもありました。その後、組織学的な検査でこれが筋組織であること、記録をさかのぼっても誰もこの

組織の存在を発表していないことが分かり、これが私の初めての論文となりました。この論文は国際誌に掲載が認められ、表紙を飾ることになりました。これは、私に解剖学の素晴らしさを教え、研究にも熱心にアドバイスをくださった先生方のおかげであると思っています。

そして2015年9月から2017年9月には、オーストラリアのアデレード大学歯学部留学させていただき、系統解剖学研究と医学部・歯学部の教育を行いました。日本と異なる研究手法や教育の違いに初めはとまどうこともありましたが、非常に貴重な経験となりました。私が留学を通じて感じたことは、国際的な交流は「異文化を体験する・他国に友人や研究者同士の関係性を築く」というだけではなく、「新たなものを生み出す可能性を秘めている」ということです。私はアデレード大学のチームと交流することでお互いを高め合うことができたと思います。今でも交流は続いており、長期休暇にはアデレード大学を訪れて共同研究に

関して意見を交わしています。

現在は新潟生命歯学部解剖学講座の講師として、研究を続けながら一人でも多くの学生に興味を持ってもらおうと、教育にも取り組んでいます。解剖学という分野は医学だけでなく、歯学・人類学・生物学等、さまざまな専門分野が交錯する場です。私の周りにも医師・歯科医師・理学療法士など、それぞれの分野で研鑽を積んだ解剖学研究者がいます。1つの事柄を考える場面でも、各専門分野で視点が違うので、お互いに切磋琢磨しながら、日々成長できる分野だと思います。

歯学部卒業後は臨床に進む、というのは歯学部的一面で、私のように基礎研究と教育に従事している歯科医もいます。多くの分野が交わる解剖学では、6年間歯学を学んできた研究者は貴重です。歯科医だからこそ見えてくるものがあるからです。学生の皆さんには、歯学部には多くの面があるということを知って、将来の選択肢の1つとして、基礎医学の研究者を考えてもらえたら嬉しく思います。



世界一わかりやすい「医療政策」の教科書

著者：津川友介

出版社：医学書院

出版年月：2020/6

請求記号：W.74/Ts38

登録番号：100037602

医療経済学や統計学を中心に、医療政策の本質が体系的にまとめられている本書。

著者がハーバード大学で学んだ医療政策や医療経済学に関するセオリーとエビデンスが取り上げられており、少子高齢化やCOVID-19対策など、これからの医療を考えるうえでの入門書となる一冊です。

●図書館開館情報

開館情報はQRコードから閲覧ください。



科目別歯科衛生士国家試験過去問題集

編集：歯科衛生士国家試験問題研究会

出版社：医歯薬出版

出版年：2019

請求記号：D2.9-N

登録番号：000138397・000138399

歯科衛生士の国家試験問題集ですが、学部学生にも人気の書籍です。基礎科目編と臨床科目編があり、わかりやすいので歯科医師国家試験対策にも役立ちます。教員の授業にも参考になる一冊です。毎年発行されるものではありませんが、第一回国家試験問題から載っているので、これからの時期ぜひご利用ください。

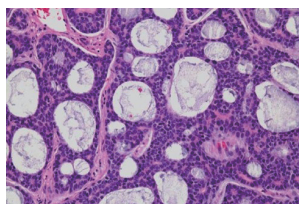
●図書館開館情報

平日 9:00～17:00 土曜日 終日閉館

貸出・返却・閲覧のみの利用になり、学習は禁止です

利用は在校生、大学院生、卒業生、職員までとなります。

KOYU Quiz



Q. 口腔のある部位に生じた腫瘍の組織像ですが、どの部位にいちばん発症しやすいでしょうか？
1つ選んでください。

- A... 舌
B... 歯肉
C... 口唇
D... 頬粘膜
E... 唾液腺

この問題は、口腔がんの組織像を示しています。口腔がんは、舌、歯肉、口唇、頬粘膜、唾液腺などに発生しますが、最も発症しやすいのは舌です。



診療室での物語

カルテ No.26

「歯科口腔外科」標榜での開業について



日本歯科大学
校友会
常務理事
内田秀彰
(75回)

みなさんは卒業後どのような道に進むか考えていますか？ 歯科大学に入ったということは、ある程度の将来設計を立てている人も多いと思います。ここでは「歯科口腔外科」という標榜で開業医をしている私のクリニックの業務形態についてお話します。学生さんたちの将来設計の一助になれば幸いです。

私は日本歯科大学を卒業後新潟歯学部第1口腔外科に入局しました。そこで口腔外科のみ十数年勉強してまい

りましたが、訳あって大学を退職しすぐに開業することとなりました。本来なら歯科医院で何年か勉強してから開業になるのでしょうか。ちょうど平成9年6月より「口腔外科」標榜が正式に認められたことから「歯科医院」ではなく「うちだ歯科口腔外科クリニック」として、平成9年6月1日(たぶん日本で第1号?)東京都大田区にて開業いたしました。当初は血液検査、点滴をおこない小手術、歯槽骨骨切りや蜂窩織炎の口腔外から排膿術、唾石、骨折など局麻でできるもの、また口腔がん末期のケアなどを行っていました。もちろん一般歯科もやりながら、少ないですが開業医としての「口腔外科」のニーズも少しはあるのだなと実感しました。

しかし私の診療所から5km以内に入院施設をもった病院の口腔外科が少しずつ増え、5か所もあることから段々

そちらで入院下で処置を行っていただいたほうが患者さんにとって良いのではと考え、次第に紹介してお願いするようになりました。その代わりに近所の校友会や歯科医師会の先生方から、抜歯や小手術の依頼が増えてまいりました。患者さんとしても何回も大学病院へ行くよりは、うちのほうが敷居が低いようで多くの患者さんが紹介されるようになりました。また近年では患者さんにも「口腔外科」という認識が徐々に広まって、抜歯以外にも顎関節症、舌痛症などいろいろな患者さんが集まるようになりました。また最近では訪問診療の依頼も多く、特に高齢者のハイリスクの抜歯などの依頼も多くきます。また2、3年前から近所の医科大学病院のがんセンターの口腔ケアや口腔の副作用のケアなどの話を地元歯科医師会と推し進めています。

現在う蝕の罹患率は徐々に低下し、今までの歯科医院での治療というのは減少傾向にあります。一方全身疾患における口腔のケアというのはますますニーズが高まっています。皆さんも卒業後のビジョンにこのような状況を踏まえて今何が求められているのか、そのなかで自分はどういう設計を立ててやっていくのかを考えてみてはいかがでしょうか。



校友の 歴史の重さ 手渡して 頼むぞ後輩 母校の未来 伝統を 守ってゆきます 我々も 富士見・浜浦 熱き心で

